

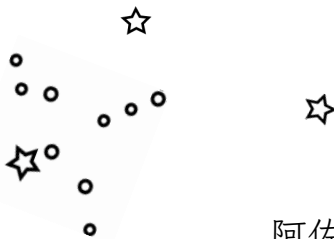
☆☆図書室だより☆☆ ☆第46号☆

☆☆- 図書委員会よりお知らせ - ☆

酷暑の折、世界の平和を願い、おすすめしたい本と併せて新しく入った本の紹介をさせていただきます。



ご紹介

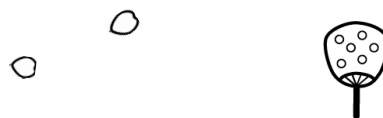


阿佐ヶ谷教会 伝道師 太田好則

『黙想の伴侶 初代教会から現代までの信仰の精華』

ヴェロニカ・ズンデル 編 中村妙子 訳 新教出版社 [赤 190.4 Zu]

平和というテーマが与えられた。広島に生まれてしまった私には、重くて重くて、とても負いきれないテーマである。毎年8月が来るたびに考えさせられる。武器を捨てる、自分の力を捨てる……いつも思考は簡単なところに戻る。だが平和は実現しない。いったい何が、それを難しくしているのだろうか。以前、私は、「あなたも私も同じ人間だよ」という立場に立たなければ、平和は来ない、と書いたけれども、実は、「あなたと私は違う。でも同じ人間として神様に愛されているよね」という立場に立たなければならないことに気づかされた。試みに本書を後ろから読んでみてはどうだろうか。マーティン・ルーサー・キング、マドリン・レングル、アレクサンドル・ソルジェニーツィン、トマス・マートン、シモーヌ・ヴェイユ、ディートリヒ・ボンヘッファーといった、名だたる牧師・司教・哲学者・文学者たちが他者を救い、他者のために祈った姿がそこにある。



『あなたの子どもは大人になれるか 保育の中の聖書』

水野誠 著 新教出版社 [茶 198.34 Mi]

阿佐ヶ谷教会の教会員であった水野誠さんは、1949年に三鷹天文台を辞して阿佐ヶ谷教会の週間学校主事として奉仕し、2年後に青山学院の基督教学科に入学されました。教職となられてから様々なキリスト教主義学校で教育と研究に従事し、1997年に召天されました。この本はキリスト教教育者としての講演をまとめたものです。

表題の「あなたの子どもは大人になれるか」は物事を自分で判断できない大人の日本人のあり方を、家庭や学校教育の場を通して見据えています。「救世主が来る」「キリストの父」では2000年前のローマ支配下のパレスチナの苦難と、マリアの婚約者ヨセフの内面を生き生きと描き出しています。「幸福な人の条件」はイエス様の「山上の説教」を通して、日本社会のあり方を鋭く批判しました。他にもイエス・キリストにまつわる珠玉のような講演がたくさん収められています。

(M.U 神学生)

戦争・平和・いのちを考える	しあわせなら態度に示そうよ!	木村利人 著	キリスト新聞社	2015.9.10	[赤 191.8 Ki]
----------------------	-----------------------	--------	---------	-----------	--------------

Clap your hands for joy, all peoples! Praise God with loud songs! (詩篇47)

タヨ アイ アカイピガン カイ クリスト (わたしたちはキリストにあってトモダチ) 再び武器を取って戦うことない、…世界を作り出すために共に力を合わせよう、と「平和のいのち」を喜び、… 祈り… (p.30 他)

「しあわせなら手をたたこう」の作詞者は、神様によって与えられたいのちの「自己決定権」を尊重する「バイオエシックス」研究者です。

戦争と平和主義	エキュメニズムが目指すところ	富坂キリスト教センター 編 神田健次 他著	いのちのことば社	2023.3.25	[赤 190.4 To]
----------------	-----------------------	--------------------------	----------	-----------	--------------

LGBTとキリスト教	20人のストーリー	平良愛香 著	日本キリスト教団出版局	2022.3.25	[赤 190.4 Ta]
-------------------	------------------	--------	-------------	-----------	--------------

保育者の祈り	こどものために、こどもとともに	望月麻生 監修 小林路津子 他著	日本キリスト教団出版局	2023.11.24	[茶 197.73 Mo]
---------------	------------------------	---------------------	-------------	------------	---------------

光の降誕祭	20世紀クリスマス名説教集	R.ランダウ 編 加藤常昭 訳	教文館	2004.9.21	[緑 194 La]
--------------	----------------------	--------------------	-----	-----------	------------

VTJ旧約聖書注解	エレミヤ書 1-20章	大串肇 著	日本キリスト教団出版局	2024.3.25	[黄 193.42 O]
------------------	--------------------	-------	-------------	-----------	--------------



『保育者の祈り こどものために、こどもとともに』

望月麻生 監修 著 小林路津子・新井純 著 日本キリスト教団出版局 [緑 198.34 La]

この本を読んで最初に頭に浮んできたのが、「よく言うておく。子どものように神の国を受け入れる人でなければ決してそこに入ることはできない。」(マタイ10:15)の御言葉でした。

いつの間にか失ってしまった幼な子の心や神様への飾らない素直な気持ちを思い出させてくれました。

まだ経験の浅い保護者に大変参考になるものであるのはもちろんですが、長年キリスト教保育に携わってきた者にとっても、忘れがちな小さな幼な子と同じ目線に立って、見て感じてそして素直な易しい言葉で祈ることの大切さを教えてくれる書、常に傍らに置いて折にふれ読み返すことが大切と感じました。

(子育て広場“つぼみ”スタッフ E.T)



『LGBTとキリスト教 20人のストーリー』

平良愛香 著 日本キリスト教団出版局 [赤 190.4 Ta]

LGBTとは、レズ、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー・セクシャルマイノリティの総称です。セクシャリティについては、一部の事で自分とは無関係と思う方もいるかもしれませんが、でもそうではないのです。「誰もが自分らしく生きられないことは苦しい」「誰もがマイノリティ要素をもって」ことを自覚する時に、他者を理解し想像する大切さを知ってほしいと思います。

この本は20人の多様性あふれる生き方と信仰のストーリーです。文中の「神の創造のみわざの豊かさ」という言葉を実感しました。異性を愛する事や体の性別のまま生きるのが当たり前としている社会の中で、生きづらさを感じている人を知る一助となります。私自身、凝り固まった区別意識や上から目線や偏見の心があることに気づかされました。「違うのは当たり前・違うからいい・自分と違うからと批判するのでなく違いを認め合う社会に」という言葉を共有したいと思います。

(S.S 若草会)

